

古賀市の顔づくりが必要

○駅舎の老朽化(H元年築)や、屋外駐輪場、未整備の駅前広場、**夜間照明**などを改善し、**安心が感じられ、かつ高質的な玄関口**としての顔づくりが求められる。



①魅力に欠ける駅前空間(東口)



②景観的配慮の無い屋外駐輪場(東口)

駅前広場の機能強化が必要

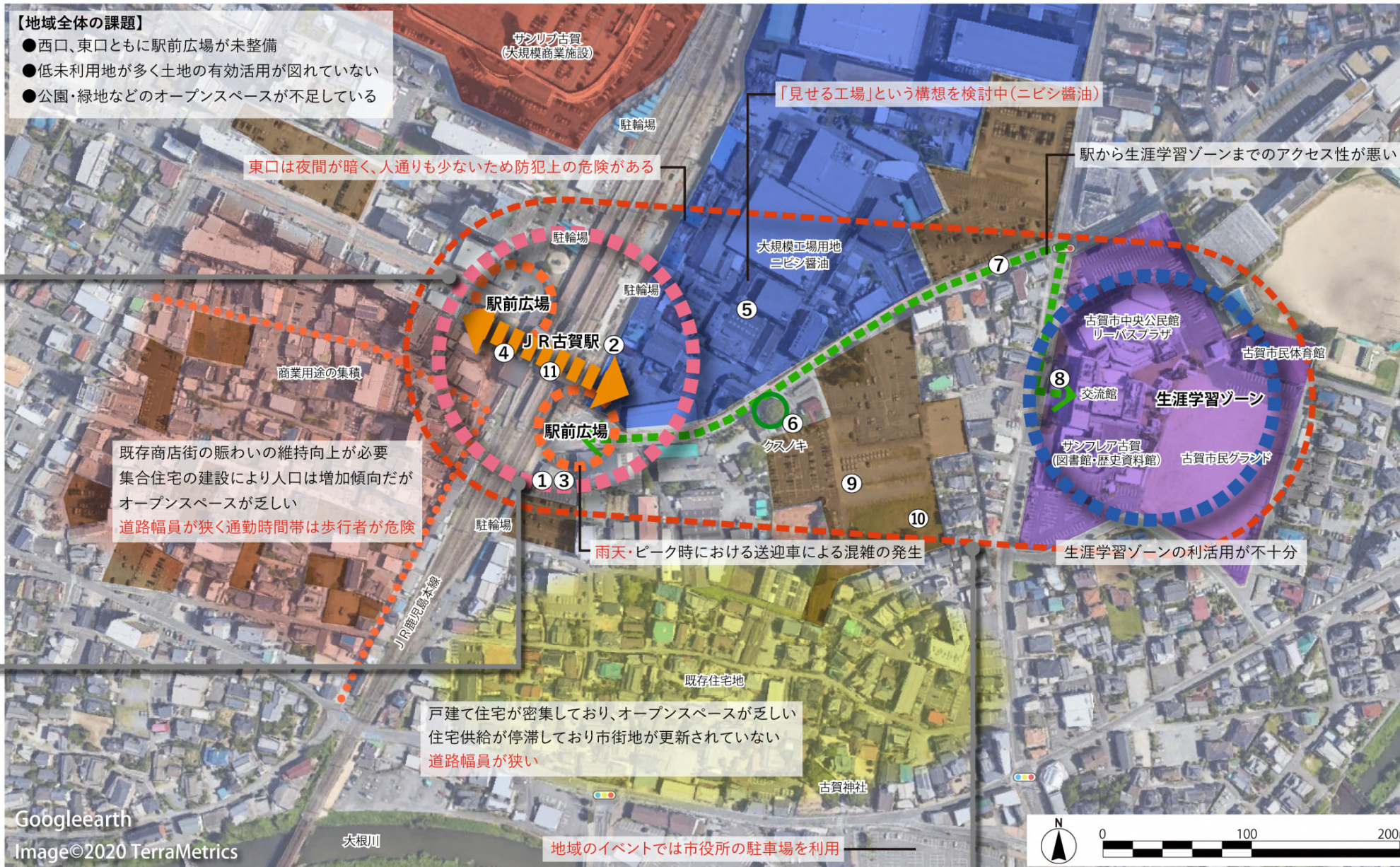
○東西の駅前広場は、西口と東口の役割分担を整理するとともに、交通結節点としての機能強化、滞留空間の高質化、歩行者動線の確保、**混雑の緩和**などが求められる。



③混雑する駅前広場(東口)



④歩行者動線とタクシー動線の交錯(西口)



既存ストック(地域資源)を活かした個性あるまちづくりの展開が必要

○古賀駅に隣接する大規模工場、既存の商店街、鉄道駅、生涯学習ゾーンの公共施設の集積、大クスノキや大根川の自然環境など既存のストックを固有の地域資源の一つとして捉え、まちの個性を高めるために積極的に活用していく必要がある。



⑤創業100年を超えるニビシ醤油



⑥大クスノキ

駅と生涯学習ゾーンを繋げるアクセス改善が必要

○駅と生涯学習ゾーンを結ぶエリアは現在アクセスが悪く、生涯学習ゾーンの利活用の促進などを考えると、社会基盤整備等により繋げることでアクセスを改善する必要がある。



⑦駅と生涯学習ゾーンのアクセス道路



⑧生涯学習ゾーン(交流館)

土地の有効活用による賑わい創出が必要

○地区全体に低未利用地が多く、機能集積が図られていない。低未利用地の活用や土地の高度利用による賑わい創出が求められる。



⑨大規模な平面駐車場



西口と東口の市街地の比較

滞留できるオープンスペースが必要

○西口、東口ともに公園が少なく、子どもから高齢者まで多様な世代が遊んだり、休憩できる空間がない。
○滞留空間も乏しく**地域のイベントも開催できる魅力的なオープンスペース**が求められる。



⑩未利用地は多いが公園は少ない



⑪滞留空間のない自由通路